

人 チーム 制度



社内ではじめて「時短勤務」を利用！  
若手女性社員がお手本にする女性管理職

東日本総合計画(株) 喜渡 真理子さん

今回ご紹介するのは東日本総合計画(株)で住宅の計画関係の仕事に携わる喜渡真理子さん。課長としての仕事をこなしながら、12歳と7歳の2人のお子さんを育てていらっしゃいます。

これまでの経歴を簡単に教えてください。

大学では都市景観を専攻していました。まちづくりや都市の在り方に興味を持ち、当社に就職しました。計画系の部署に配属され、主に住宅系の計画や都市デザイン、開発計画等の業務に携わってきました。2回の産休・育休を経て、今年度から情報技術部計画情報課の課長として仕事をしています。

二度の産休・育休を経験されていますが、仕事復帰をする際に不安だったことはありますか？

当社では産休・育休を取得したことがある社員はいましたが、その後仕事復帰した社員がいませんでした。そのため、自分がうまく仕事復帰できないと次の人が取得しにくくなるかもしれない、というプレッシャーはありました。ですが、会社を辞めることは考えていませんでしたし、会社からも戻ってきてほしいと言われていたので、復帰することに対してあまり不安は感じませんでした。また、時短勤務するのも私が初めてだったこともあり、自分の希望を会社がかなり聞き入れてくれたので助かりました。そのため、2人目の産休・育休の際も特に不安なく復帰することができました。

最近では当社でも女性社員が増えましたが、産休・育休・時短勤務のサポートは問題ないので、不安に思わず復帰してもらいたいです。

プロフィール

氏名 : 喜渡 真理子 (43)  
所属 : 東日本総合計画(株)  
情報技術部計画情報課  
勤続年数: 22年目  
居住地 : 埼玉県  
家族構成: 夫(43) / 長男(12) / 次男(7)  
勤務状況: 通常勤務

経歴

1995年04月	東日本総合計画(株)入社
2001年06月	結婚
2003年07月	長男出産・産休・育休
2004年07月	復帰
2009年06月	次男出産・産休・育休
2010年5月	復帰
2016年04月	計画情報課課長

復帰後の仕事の対応はどうしていましたか？

仕事復帰後、1年半ほどは出張が少ない部署へ異動になりましたが、復帰前の仕事と関係がある部署だったので、そこで徐々に仕事の感覚を戻していきました。その後、元々いた部署へ戻り出張も再開したのですが、初めのうちはほぼ近場のみでしたし、打合せを保育園の迎えを考慮した時間に設定してくれました。また、先方も時短勤務を理解してくれる方が多かったことはありがたかったですね。

今年度から管理職として今までと違う立場で勤務されていますが、心がけていることはありますか？

管理職となって一番変わったのは、責任が増えたことです。今までは自分の仕事だけでよかったのですが、他の人の調整も必要になりますし、経営的な部分も意識しなくてはならなくなりました。

そのため、課内ではコミュニケーションをまめにとることを心がけています。毎日課ごとに終礼をしますが、一方的に業務連絡をするのではなく、その日の打合せ内容や、残業時間、翌日の予定等の確認を行うことで、お互いの仕事状況などを把握するようにしています。

子育てと仕事を両立させるために必要なことを教えてください。

やはり家族や会社のサポートは必要です。また、忙しい業界ではありますが、自分で仕事の調整ができる仕事だと思っているので、工夫して時間を作ることが大切だと思います。



終礼の様子

課の紹介

メンバー: 課長、社員7人  
年齢構成: 20代1名、30代2名  
40代2名、50代3名  
男女比: 7:1  
主な業務: 都市計画基礎調査  
空き家調査及び計画  
住宅系の計画、  
商業系の計画等

ある1日のスケジュール

6時00分	7時00分	7時40分	8時00分	9時00分	17時30分	18時30分	18時45分	20時00分	21時30分	22時00分	24時00分	
起床	家族を起す 朝食	次男と出発 登校班集合場所へ	夫・長男出発	勤務開始 メールチェック	勤務終了 翌日の仕事の確認 ひたすら仕事	学童お迎え	帰宅 夕食の用意	夕食	夕食・荷物片付け	お風呂	夫帰宅	就寝